

特集

平成29年度 海外派遣事業



ボーイング社エバレット工場にて、飛行機の製造工程を見学。団員たちは皆、日本の工場とのスケールの違いに驚いていました。特に、多くの飛行機が組み立て工程で並んでいる様子は、生まれて初めて見る光景で圧巻でした。三菱重工から出向している黒崎様には、お忙しい中でも丁寧にこちらからの質問に答えていただきました。



日米の農業を比較するために、スパングラ農場の見学を行いました。視界に入る風景全てがスパングラさんの農場という、日本の農業とは桁違いのスケールに一同驚愕。さらに、自分の身長より大きいタイヤの収穫機、飛行機を使って肥料を散布するなど日米の農業スタイルの違いにも触れ、非常に貴重な経験となりました。



サクラメント愛知県人会の方々との会食。県人会の方々には日本とアメリカの2つの視点からアメリカの文化というものをお話いただきました。また、団員一人ひとりにプレゼントをいただき、お別れの際にはいただいたTシャツを着て、別れを惜しむ姿も見られました。



●研修の様子は、村公式ホームページでもご覧いただけます。

トップページ⇒取り組み⇒国際交流⇒海外派遣事業⇒研修日誌

報告

本村の中学生40名が、8月16日(水)から22日(火)の5泊7日で、姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州リオビスタ市等を訪れ、交流会やホームステイのほか様々な研修を通して貴重な体験をし、派遣団員の一人ひとりが親善大使としての役割をしっかりと果たしてきてくれました。

リオビスタ市では、ノーマン市長を始め、多くの方々に歓迎していただきました。また、今年、リオビスタ市姉妹都市交流10周年ということで、盛大に式典を開催していただき、多くの関係者と交流を深めました。



リバービュースクールではバディに学校案内をしてもらったり、一緒にランチを食べたりして交友を深めました。交流会では、お互いゲームに積極的に参加し、大盛り上がりでした。

団員たちの顔からは、今回のホームステイが非常に充実したものだったことがうかがえます。2泊3日のホームステイで、どのような楽しい思い出を作ったのでしょうか。

ホストファミリーの皆さんと記念撮影▶



来年も、リオビスタ市姉妹都市交流団の来村が予定されています。ホームステイの受け入れをしていただける方の登録等を随時受け付けていますので、お気軽に生涯教育課までお尋ねください。

●問合せ先 中央公民館内生涯教育課